

協働のまちづくり
チャレンジ事業とは？

市民活動団体や学生団体など、市民の皆さんが持っているまちづくりのアイデア・企画を提案していただき、採択された企画について、採択団体と金沢市が協力してまちづくりに取り組んで行こう！というものです。

01

多職種による
防災知識の
シェア団体

この指とまれ!

(R6年採択)

様々な職業でプロとしての経験と防災知識を持つメンバーが在籍。「大切な人を守る人を増やしたい」を合言葉に災害弱者と呼ばれる方、お子さんを養育する家庭、コミュニティ防災士などに講座を行っています。



02

金沢城・兼六園研究会

(R6年採択)

「金沢城・兼六園を愛し、その魅力を学び、皆さんに広く伝えたい。」文化財の学習と普及を行う平成30年6月に設立された団体で、現在115人の会員が交流しながら活動しています。11月16日親子体験ツアー「カルタとクイズで兼六園!!」を開催しました。



重症児・医療的ケア児相談事業 さくらんぼすまいる

(R4-6年採択)



障がい児の親を中心とした15名の活動メンバーで、グループ相談会を中心に食事支援や防災キャンプなどの親子対象イベントを行っています。支援者・地域の方とのつながりも大切に「障がいの有無にかかわらず、すべての親がしあわせな子育てのできる社会」を目指し、様々な活動に取り組んでいます。



04

NPOエコラボ

(R4年採択)



気候変動の緩和や自然環境保全を目指し、持続可能な資源活用と魅力あるまちづくりに取り組んでいます。2020年いいね金沢環境活動賞、2022年農林水産大臣賞受賞。地域特性を活かした体験型環境学習を行い、環境食育、マイボトル給水スポットを拡大する実証実験と政策提言、省エネ活動などで地域住民と連携しています。



脳脊髄液減少症

石川・金沢患者家族支援の会

05

(R1年採択)



「石川県に専門医を。検査・診断・治療できる病院を」を目標に令和元年から活動しています。昨年からは今年にかけて、脳神経外科医による研究会発足、金沢市内一部の病院で治療開始など脳脊髄液減少症の治療環境が大きく前進し、活動が実を結びました。皆様のご支援に感謝し、これからも周知を頑張ります。



協働をすすめる市民会議では、金沢市協働通信「いいねまちづくり」に掲載を希望する市民活動団体を募集しました！

応募のあった5団体について、表紙に写真を掲載し、活動をご紹介します。

他にも、令和6年度は下記の団体が取り組みました！

スタート部門

Take a step

(ダイバーシティ人権政策課)



「わたしの身体はわたしのもの」子供の自己決定能力を育む金沢に！

スタート部門

NPOウェルビーイング
ライフサポート金沢

(福祉健康センター総務課)



産前・産後ケア (メンタルヘルス・プロケアクラス)

一般部門

NPO法人
WEKプロジェクト

(子育て支援課)



金沢でもんなかプロジェクト

一般部門

にじのわ

(福祉健康センター総務課)



医療専門職による「子育ての学校・にじのわ」の開設に向けての準備事業

一般部門

にじいろあそび

(市民協働推進課)



不登校児の親のための「つながりプラットフォーム」をつくる

団体連携部門

特定非営利活動法人
ワークライフバランス北陸

材木地区町会連合会・馬場地区町会連合会 (市民協働推進課)



【川と橋の物語】episode01 七つ橋わたりと体験型コミュニケーション

学生部門

ユースの保健室



知る・触れるSRHR 生理痛体験を通じた対話イベント

学生部門

学生団体ウィーコード



多世代向けプログラミング体験イベント

多職種による
防災知識のシェア団体
この指とまれ!

金沢城・兼六園
研究会

金沢市協働通信 vol.16

いいね まちづくり

市民活動団体より

活動の写真が届きました!

重症児・医療的ケア児相談事業
さくらんぼすまいる



脳脊髄液減少症
石川・金沢患者家族支援の会



NPOエコラボ

令和7年度
チャレンジ
事業募集!

協働のまちづくりチャレンジ事業
令和7年4月より募集開始予定!

皆さんからのまちづくり企画の提案をお待ちしています。



詳しくはこちら

【発行元】協働をすすめる市民会議
【お問い合わせ】協働をすすめる市民会議事務局 (金沢市市民協働推進課内)

☎076-220-2026
✉kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

特集1 まちづくりHUB Project in 金沢 第2回開催の様子をグラフィック議事録で紹介します!

特集2 協働のまちづくりチャレンジ事業 採択団体の取組について紹介します!

第2回まちづくりHUB Project in 金沢

グラフィック議事録

金沢市では、まちづくりを... 令和6年度は、10月18日(金)に金沢学生のみち市民交流館交流ホールにて「地域で活躍したい学生と市民集まれ!」と題して、第2回「まちづくりHUB Project in 金沢」を実施しました!当日は、30名の方にご参加いただきました。

イベント当日の事例発表や当日出た意見、アイデアを1枚にまとめました。このグラフィック議事録は、HUB Project in 金沢での活動をより分かりやすく市民の皆様へ周知し、市民の方に協働への理解を深めていただくことを目的に作成したものです。

これまでの「まちづくりHUB Project in 金沢」の活動の様子や今後のイベント情報はホームページをご覧ください

募集中のイベント情報や開催報告などの情報は、金沢市市民活動サポートセンターのInstagram・Facebookから!



金沢市協働通信『いいねまちづくり』のバックナンバーはこちら▶

Main infographic for 'まちづくりHUB Project in 金沢'. It features a central map of Kanazawa with four regions highlighted: 材木地区 (Material District), 木倉町地区 (Kikuchō District), 小坂地区 (Osaka District), and 尾張町地区 (Owari District). Each region has a box detailing a project partnership, such as '材木地区 町会連合会 × 金沢大学 ボランティアさぼーとステーション' and '尾張町商店街 × 金沢大学 Project: AERU'. The infographic also includes a central section on '地域と学生の連携のカタチ' (Forms of Collaboration) with four types: 協力型 (Cooperation), 協働型 (Collaboration), 共存型 (Coexistence), and 共同型 (Joint). It features various icons, QR codes, and text boxes providing contact information and project details.

未来のまちづくりの話

たくさんの方が飛び交いました

Free Talk

小坂地区

多目的コミュニティスペースの展開... 現在、役割分担はできているので、調整は限られていない。ただ、今後は役割分担をなくして、お互い協力できるようにし、交流を促したい。今後のキーワードは「複数」。活動している公民館などを、一つの場所にいるような目的を持って人が集まる場所にするのはいいか?

尾張町地区

コミュニケーションツールの多様化... 尾張町商店街は、学生とどうまくコミュニケーションが取れていたの、その手法を別団体の学生に伝授! 尾張町は月1回、合同会議をしている。地域と学生を繋ぐコーディネーターが地域にいる。学生の主体性を尊重、ラインなど使った手軽な連絡手段。今後も、地域と学生が連携した活動を行いたい。

参加した市民からの声

大学生のやりたいことが実践できる場所として、地域を活用してもらいたい。地域の埋もれている価値を、汲み取った企画ができれば、小さなイベントで地域を活性化してもらえれば。

【お問い合わせ】 協働をすすめる市民会議事務局 (金沢市市民協働推進課内) TEL 076-220-2026 kyoudou@city.kanazawa.lg.jp 【発行元】 協働をすすめる市民会議

木倉町地区

「附いツアー」による新しい交流創出... 本倉町課題: 飲食店は学生バイトが欲しい。学生が飲みに来ない。学生課題: 十分な食事を取れていない。課題解決→附いツアーを企画! ツアーを通じて、大学生の胃袋を掴む。マスターとお話する機会を作り、食、人に興味を持ってもらうことで、関わり合い、交流を生むのはどうか?

材木地区

KANAZAWA TSUNAGARU